

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識及び運動	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
体づくり運動 ア、体ほぐしの運動 イ、体の動きを高める運動	8	手軽な運動を行うことを通して事故や仲間の心と体との関係に気付いたり、仲間と関わり合ったりするとともに、多様な動きを作る運動(遊び)を踏まえ、体の動きを高める運動の行い方を理解し、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める。	ア、手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりできる。また、その行い方を理解する。 イ、体力の必要性や体の動きを高めるための運動の行い方を理解する。また、自己の課題を踏まえ、直接的に体力の向上をねらいとして、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める。	○経験した運動の中から心と体との関係に気付いたり、仲間と関わり合ったりするなどのねらいに応じた活動を選んでいる。 ○気付きや関わり合いが深まりやすい運動や、体の動きを高めるために適した運動の行い方を選んだり、工夫したりしている。 ○運動を行うと心と体が軽やかになったことやみんなでリズムに乗って運動をすると楽しさが増したことを学習カードに書いたり、振り返りの時間に発表したりしている。	○体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組んでいる。 ○運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合って取り組んでいる。 ○運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ○運動の行い方について仲間の気付きや考え、取り組みの良さを認めている。 ○運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
器械運動 ア、マット運動 イ、鉄棒運動 ウ、跳び箱運動	14	器械運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を知るとともに、今までに学習したマット運動、鉄棒、跳び箱運動などの基本的な技を安定して行ったり、その発展技やさらなる発展技に取り組んだり、それらを組み合わせたりして技を身に付ける。	ア、自己の能力に適した回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりできる。選んだ技を自己やグループで繰り返したり、組み合わせたりできる。また、その行い方を理解する。 ・開脚前転 ・補助倒立前転 ・伸膝後転 ・倒立ブリッジ、ロンダート ・頭はね起き ・補助倒立など イ、自己の能力に適した支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりできる。選んだ技を自己やグループで繰り返したり、組み合わせたりできる。また、その行い方を理解する。 ・前方支持回転 ・片足踏み越し下り ・膝掛け上がり ・前方もも掛け回転 ・逆上がり ・後方支持回転など ウ、自己の能力に適した切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりできる。また、その行い方を理解する。 ・かかえ込み跳び ・伸膝台上前転 ・頭はね跳びなど	○タブレットやデジタルカメラなどのICT機器を活用して、動きのポイントと自己や仲間の動きを照らし合わせ、技のできればえや次の課題を確認するなど、自己の課題を見付けている。 ○見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自己の課題に適した練習の場を選んでいる。 ○役割を決めて観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして、つまづいて技や演技のこつやわかったことを文字や図で書いたり、映像を活用して発表したりするなどして仲間やグループに伝えている。	○マット運動、鉄棒運動、跳び箱運動の基本的な技や発展技に積極的に取り組んでいる。 ○互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ○器械、器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ○技や演技を行う中で、わかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ○けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立松本小学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
陸上運動 ア、短距離走・リレー イ、ハードル走 ウ、走り幅跳び エ、走り高跳び	14	陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、短距離走・リレー、ハードル走、走り幅跳び、走り高跳びなどの基本的な技能を身に付ける。	<p>ア、走る距離やバトンの受渡しなどのルールを決めて競走したり、自己の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、一定の距離を全力で走ることができる。また、その行い方を理解する。</p> <p>イ、インターバルの距離やハードルの台数などのルールを決めて競走したり、自己の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、ハードルをリズムカルに走り越えることができる。また、その行い方を理解する。</p> <p>ウ、試技の回数や踏切ゾーンの設置などのルールを決めて競走したり、自己の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、リズムカルな助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。また、その行い方を理解する。</p> <p>エ、試技の回数やバーの高さの決め方などのルールを決めて競走したり、自己の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、リズムカルな助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。また、その行い方を理解する。</p>	<p>○タブレットやデジタルカメラなどのICT機器を活用して、動きのポイントと自己や仲間の動きを照らし合わせ、技のできればや次の課題を確認するなど、自己の課題を見付けている。</p> <p>○見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自己の課題に適した練習の場を選んでいる。</p> <p>○自己に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。</p> <p>○活動後に、運動のポイント、学習の記録、仲間の動きのよさなどを学習カードに書いたり、振り返りの時間に発表したりしている。</p>	<p>○短距離走・リレー、ハードル走、走り幅跳び、走り高跳びに積極的に取り組んでいる。</p> <p>○約束を守り、仲間と助け合っている。</p> <p>○用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。</p> <p>○短距離やリレーなどの勝敗を受け入れている。</p> <p>○課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。</p> <p>○場の危険物を取り除いたり、場を整備したりするとともに、用具の安全に気を配っている。</p>

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立松本小学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
水泳運動 ア、クロール イ、平泳ぎ ウ、安全確保につながる運動	14	水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、手と足の動かし方や呼吸動作などの基本的な技能を身に付ける。	ア、左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐことができる。また、その行い方を理解する。 イ、手の動きに合わせて呼吸し、キックの後には息を止めてしばらく伸びて、続けて長く泳ぐことができる。また、その行い方を理解する。 ウ、背浮きや浮き沈みをしながら、タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続けて長く浮くことができる。また、その行い方を理解する。	○学習カードや掲示物を活用して、動きのポイントと自己や仲間の動きを照らし合わせて自己の課題を見付けている。 ○自分で決めた距離や回数、時間に挑戦し、自己の課題を見付けている。 ○自ら選んだ泳ぎ方で続けて長く泳いだり、決まった距離でのストローク数に挑戦したりするなど、自己や仲間の能力に応じた記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ○互いの動きを見合ったり、互いの練習の補助をし合ったりすることを通して、見付けた動きのポイントや事故や仲間の課題に適した練習方法を伝えている。	○水泳運動に積極的に取り組んでいる。 ○課題を解決するための練習では、練習場所やレーンの使い方、補助の仕方などの約束を守り、仲間と助け合っている。 ○用具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ○課題を見付けたり、解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ○プールの底、水面などに危険物がないかを確認したり、自己の体の調子を確認してから泳いだり、仲間の体の調子にも気を付けるなど、水泳運動の心得を守って安全に気を配っている。

令和6年度 評価規準

学校名: 江戸川区立松本小学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
ボール運動 ア、ゴール型 イ、ネット型 ウ、ベースボール型	26	集団対集団の攻防によって競争する楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、ボール操作とボールを持たないときの動きによって簡易化されたゲームができるようになる。	ア、投げる、受ける、蹴る、止める、運ぶ、手渡すといったボール操作ができる。ボール保持者からボールを受けることのできる場所に動くなどのボールを持たないときの動きによって、攻撃側にとって易しい状況の中でチームの作戦に基づいた位置取りをするなどの攻守入り交じった簡易化されたゲームをすることができる。また、その行い方を理解する。 イ、ボール操作とチームの作戦に基づいた位置取りをするなどのボールを持たないときの動きによって、軽くて柔らかいボールを片手、両手もしくは用具を使って操作したり相手が捕りにくいボールを返球したりするチームの連携プレイによる簡易化されたゲームなどができる。 ウ、静止したボールやゆっくりとした速さで投げられたボールを打つ攻撃や、捕球したり送球したりする守備などのボール操作と、チームとして守備の隊形をとったり走塁をしたりするボールを持たないときの動きによって、攻守交代が繰り返し行える簡易化されたゲームができる。	○誰もが楽しくゲームに参加できるように、プレイヤーの人数、コート広さ、プレイの制限、得点の仕方などのルールを選んでいる。 ○自己やチームの特徴に応じた作戦を選んでいる。 ○自己や仲間が行っていた動き方の工夫を動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って、他者に伝えている。	○簡易化されたゲームやその練習に積極的に取り組んでいる。 ○ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ○場の設定や用具の片づけなどで、分担された役割を果たしている。 ○ゲームの勝敗を受け入れている。 ○ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ○ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

令和6年度 評価規準

学校名：江戸川区立松本小学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
表現運動 ア、表現 イ、フォークダンス	6	<p>「表現」では、更に個人やグループの持ち味を生かした簡単なひとまとまりの動きにして、仲間と表したい感じを込めて通して踊る力を培う。</p> <p>「フォークダンス」では、日本の地域や世界の国々で親しまれてきた日本の民謡や外国の踊りを身に付けて、日本の地域や世界の文化に触れながら踊りで交流する力を培う。</p>	<p>ア、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現したり、グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現したりできる。また、その行い方を理解する。</p> <p>イ、日本の民謡や外国の踊りの踊り方の特徴を捉え、基本的なステップや動きを身に付けて音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができる。</p>	<p>○表したい感じやイメージが表れているか、踊りの特徴を捉えて踊れているかなど、グループの仲間や他のグループの踊りを見て、自己やグループの課題を見付けている。</p> <p>○表したい感じやイメージが伝わりにくいという課題に応じて、「はじめ-なか-おわり」で一番盛り上げたい場面を明確にし、急変する場面や取り入れる群の動きを選んでいる。</p> <p>○表したい感じやイメージにふさわしい動きになっているかをペアのグループやクラス全体で見合い、よくなったところを伝えている。</p>	<p>○表したい感じやイメージを表現したり、日本の民謡や外国のフォークダンスで交流したりする運動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>○互いの動きや考えのよさを認め合っている。</p> <p>○表現やフォークダンスに取り組む際に、仲間と助け合っている。</p> <p>○場の設定や用具の片づけなどで、分担された役割を果たしている。</p> <p>○活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配っている。</p>